

北海道農業・農村の概要

北海道農政部より発表されている「北海道農業・農村の概要」が、平成24年10月に更新されましたので紹介いたします。

[平成24年10月 北海道農政部]

北海道農業の地位・特徴

●北海道においては、全国の約4分の1の耕地面積を生かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした生産性の高い農業を展開。

●平成22年の農業産出額は、9,946億円で全国の約12%を占める。

●本道農家の一戸当たり耕地面積は、都府県の約15倍にあたる22ヘクタール、販売農家に占める主業農家の割合は都府県の21%に対し72%と、大規模で専門的な経営を展開。

●本道の農業・農村は、食料の安定供給といった基本的役割に加え、国土の保全などの多面的な機能を有しており、道が平成9年度に行った調査によると、農業産出額を大きく上回る1兆2,581億円の評価。

●平成22年の北海道の食料自給率は173%（概算値）であるとともに、国産供給熱量の約2割を供給するなど、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮。

北海道農業・農村の動向

●本道農業・農村の農家戸数は、年々減少しており、平成23年の販売農家数は4万3,000戸。また、農業労働力の高齢化も進行しているが、都府県に比べると、若い農業者の割合が高い状況。

●平成23年の農外からの新規参入者は77人で、前年に比べ16名増加。農家子弟を含めた新規就農者の総数は、近年、概ね600人～700人で推移し、平成23年は676人が就農。

●認定農業者は、平成5年の制度創設以来、着実に増加しているが、近年は横ばい傾向にあり、平成23年3月末現在、3万2,304経営体。

●農業生産法人は、毎年増加しており、平成23年1月1日現在、2,649法人。

●耕地面積は、平成2年の120万9,000ヘクタールをピークに減少しており、平成23年は115万5,000ヘクタール。

●認定農業者など担い手への農地の利用集積は年々進展しており、平成23年3月の集積率は87.5%。

●本道においては、地域ごとにその特性を生かした農業生産を展開。農業産出額では、麦類、豆類、いも類、工芸農作物、乳用牛の全国に占める割合が高い。

■北海道農業の全国シェア

区分	単位	北海道(A)	全国(B)	A/B(%)	年次
耕地面積	千ha	1,155	4,561	25.3	23年
販売農家戸数	千戸	43	1,561	2.8	23年
農家人口	千人	167	6,163	2.7	23年
農業就業人口	千人	109	2,601	4.2	23年
農業産出額	億円	9,946	82,551	12.0	22年
国産供給熱量	kcal/人・日	183	946	19.3	22年

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、「農業構造動態調査」ほか

■本道と都府県の農家の比較

区分	単位	北海道(A)	都府県(B)	A/B(倍)	年次
一戸当たり経営耕地面積	ha	22.0	1.5	15.3	23年
一戸当たり乳用牛飼養頭数	頭	110.4	47.4	2.3	23年
基幹的農業従事者65歳未満割合	%	69.8	39.3	1.8	23年
主業農家数/販売農家数	%	72.1	21.4	3.4	23年
農業依存度	%	90.1	39.6	2.3	22年

*資料:農林水産省「農業構造動態調査」、「畜産統計」ほか

■北海道農業・農村の多面的機能の評価額(単位:億円)

区分	評価額	内訳
国土保全機能	7,405	洪水防止6,143、土壌浸食防止32、水資源かん養543、大気浄化687
アメニティ機能	4,149	景観保全2,464、保健休養1,044、生態系保全641
教育文化機能	1,027	自然教育1,017、農業実務研修10
計	12,581	

*資料:北海道農政部「農業・農村の多面的機能の評価額」(10年3月)

■農家戸数、農業就業人口等の推移(販売農家)(単位:戸、人、%)

区分	H2	H7	H12	H17	H23
農家戸数	86,704	73,588	62,611	51,990	42,800
農家人口	376,565	311,711	261,160	211,929	166,500
農業就業人口	208,965	173,530	152,387	131,491	108,700
65歳以上率	20.8	25.2	31.2	34.1	34.3

*資料:農林水産省「世界農林業センサス」、「農業構造動態調査」

■新規就農者数の推移(単位:人)

区分	H7	H12	H17	H20	H21	H22	H23
新規学卒就農者	417	343	331	276	245	302	309
Uターン就農者	53	192	267	257	299	337	290
新規参入者	31	64	55	66	67	61	77
計	501	599	653	599	611	700	676

*資料:北海道農政部調べ

■認定農業者数、農業生産法人数の推移(単位:人、%)

区分	H7	H12	H20	H21	H22	H23
認定農業者	3,659	13,593	32,735	32,808	32,823	32,304
農業生産法人	1,559	1,794	2,495	2,559	2,642	2,649

*資料:北海道農政部調べ

●品目別の生産量(平成22年)では、小麦、ばれいしょ、大豆、小豆、インゲン、ソバ、てん菜、タマネギ、生乳など多くの品目が全国一。

●クリーン農業の推進成果であるYES!clean登録集団数は、平成23年産で54作物、115市町村で延べ382集団と、地域的な広がりも進展。

●販売農家一戸当たりの農業所得は、近年減少傾向も、平成22年には603万円と増加。経営部門別では、水田作経営が米戸別所得補償モデル事業の導入により増加したが、畑作、酪農経営は減少。

●近年、道内各地において、地元のこだわりの農産物を地域内で加工し、農産物の付加価値を向上させる地域内発型の取り組みが増加。

■YES!clean登録集団の推移

区分	H12	H17	H20	H21	H22	H23
作物数	8	47	53	53	53	54
市町村数	8	104	112	113	115	115
延べ集団数	11	244	357	366	376	382
延べ生産者数	975	8,851	11,207	11,375	11,455	11,659

*資料:北海道農政部調べ

■農業経済の動向(単位:千円、%)

区分	H7	H12	H17	H20	H21	H22
農業所得	4,236	3,204	5,150	5,049	5,858	6,026
総所得	8,393	7,695	6,551	6,282	7,217	7,482
農業所得率	31.1	23.2	28.3	23.4	25.8	26.3

*資料:農林水産省「農業経営統計調査」

*注:平成16年以降は、農業補助金や共済金等が農業所得に計上されている

■耕地面積等の推移(単位:千ha、%)

区分	H7	H12	H17	H21	H22	H23
耕地面積	1,201	1,185	1,169	1,158	1,156	1,155
田	240	235	228	225	225	224
普通畑	418	414	412	414	414	414
牧草地	540	532	525	516	514	513
担い手への利用集積率	48.5	58.6	79.4	85.9	87.5	—

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、北海道農政部調べ

注:担い手は認定農業者及び市町村基本構想水準到達者

■農業産出額の構成(H22)(単位:億円、%)

区分	北海道	構成比	全国	構成比	道/全国	順位
農業産出額	9,946	100.0	83,162	100.0	12.0	1
精糧	4,806	48.3	55,513	67.2	8.7	1
米	1,064	10.7	15,722	19.0	6.8	2
麦類	249	2.5	504	0.6	49.4	1
雑穀	31	0.3	99	0.1	31.3	1
豆類	271	2.7	620	0.8	43.7	1
いも類	621	6.2	2,100	2.5	28.6	1
野菜	2,032	20.4	22,485	27.2	8.0	1
果実	52	0.5	7,497	9.1	0.7	35
花き	126	1.3	3,512	4.3	3.6	7
工芸農作物	335	3.4	2,143	2.6	15.6	1
畜産	5,139	51.7	26,475	32.1	19.4	1
肉用牛	559	5.6	5,077	6.2	11.0	2
乳用牛	3,634	36.5	7,733	9.4	47.0	1
豚	336	3.4	5,352	6.5	6.3	4
鶏	313	3.1	7,795	9.4	4.0	7

*資料:農林水産省「生産農業所得統計」

■経営部門別の農業所得(所得率)(単位:千円、%)

区分	水田作	畑作	酪農
21年	3,404(29.1)	8,604(29.9)	11,078(118.4)
22年	4,437(34.6)	7,951(28.8)	9,050(115.5)

*資料:農林水産省北海道農政事務所「農業経営統計調査」

*注:数値は、当該部門以外も含めた農業経営全体の所得

